

## 1. 指定管理者(施設)の基本情報

施設名	箕面市立萱野中央人権文化センター
指定管理者	特定非営利活動法人 暮らしづくりネットワーク北芝
指定期間	平成27年度～令和6年度
施設概要	萱野中央人権文化センター、萱野青少年体育館・グラウンド
市支出額	年110,063,000円

## 2. 事業の実施状況

## (1) センター利用に関すること

住民の平等利用の確保	3ヶ月前の事前予約・抽選制
利用者の増加、サービスの向上	らいとぴあニュース発行(隔月・3500部)
利用者等の安全対策に関する業務	消防避難訓練(年度末までに2回実施予定)
職員研修	外部の講座・研修会・視察研修・講師派遣等

## (2) 施設・附属設備の維持管理に関すること

附属設備の保守点検に関する業務	総合管理委託(イーチ合同会社)
備品に関する業務	備品台帳に基づく管理
修繕に関する業務	委託業者の報告・利用者の苦情等により、予算の範囲内で随時修繕
日常清掃及び定期清掃に関する業務	総合管理委託(イーチ合同会社)
環境保全に関する業務	電灯の一部LED化とデマンド方式の導入

## (3) 事業実施に関すること

地域ささえあい推進室事業	別紙「事業報告」のとおり
地域教育推進・子育て支援室事業	同上
相談事業	同上

## 3. 利用者の満足度

## (1) 利用者アンケートの状況

アンケートの結果概要	別紙
------------	----

## (2) 利用者等の意見交換会の状況

意見交換会の結果概要	別紙
------------	----

## (3) 利用者からの意見を反映させる取り組み

取り組みの実施状況	別紙
-----------	----

#### 4. 収支状況

別紙「収支計算書」のとおり

#### 5. 特別提案の状況

月曜日の開館	2017年10月以降、すべての月曜日を閉館しているが、館の保守作業の必要性から、原則として第3月曜日を休館日としている。
会議室及び講座室の分割	2015年度7月利用分より分割できる形で貸館を開始している。
展示コーナーにおける喫茶コーナーの設置	コロナ予防対策上、席を間引き、適切な距離を保つ環境を整えて実施している。2020年9月現在、毎週木曜日と土曜日の定期的な稼働に加え、当法人が運営している放課後等デイサービスの子どもたちによるカフェを実施していたり、来館者に一息つける機会を可能な限り提供している。

#### 6. 指定管理者の自己評価

貸館業務について、2019年度の稼働率は、2018年度よりやや増加している。団体登録の申請は定期的にあるが、スポット利用の場合が多かったり、競争率の高い体育館の利用であることが多い。また、グラウンドを利用希望の団体登録において、「何曜日だったら毎週空いているか」という問い合わせがあり、実態も合わせて考えると、グラウンドはルーティンで利用したい団体が多いことがうかがえる。新型コロナウイルスの貸館への影響について、2019年度においては2月下旬頃から少しずつキャンセルの連絡が出始め、3月末までで100件を超えるキャンセルが出た。利用者アンケートの結果からは利用者に「おおむね満足」以上の評価を得られたと考えているが、例年どおり、備品の更新や清掃に関する要望を頂戴している。清掃については職員でできることは実施していく等、貸館業務の改善を図っていく。

自主事業について、例年どおり、実施する講座は原則として無料にしている。予約制としているものもあるが、飛び込みで参加可能なものも多く、ふらっと気軽に参加できるのが特徴である。ただし、実費程度を負担してもらう形をとっている(喫茶コーナーでのドリンク代等)。すべての講座の実施時にはアンケートをとっており、その意見を参考にして次の事業の展開を検討している。

相談事業では、隣保館の総合生活相談と生活困窮者自立支援法(就労準備支援)の相談の窓口となっており、多様な相談ケースに対応している。箕面市生活援護室や箕面市社会福祉協議会をはじめ、さまざまな機関と連携して対応している。また「就職支援講座」や「1日ハローワーク」では箕面営業室と連携しており、「年金なんでも相談会」では介護・医療・年金室と連携している。当館においては、相談者に軽作業を用意したり、相談者が喫茶コーナーで定期的に喫茶のスタッフとして働けるようにしているなど、各人の実情にあわせた事業を実施している。

スタッフに関しては、OJTや研修を通じてのスキルアップに努めているが、今後はさらに、地域の方々と「顔の見える関係づくり」に重点を置いてスタッフの誰にでも気軽に相談してもらえるようにしていきたい。